



令和3年7月16日

園長通信 107号

-がんばれ・ありがとう卒園生のみんな-

園長 安達 謙

yuzuru@hijiri.ed.jp

今日で、来週の年長の遠足とHC以外の子どもたちは、1学期終了となります。この1学期も緊急事態宣言が発令され、園としては感染の拡大防止に努めながら、みんなでひとりひとりの子ども達の成長を願って努力してまいりました。子どもたちは先生の愛情と努力に支えられて成長してきたと思います。そして、その先生たちの努力を支えているのは子ども達の成長です。例えばママと朝別れるのが辛くて泣いていた子が先生に支えられて少しずつ園に慣れて、笑顔で過ごす時間が増えてくるなど、その姿が先生の力になり、また頑張ろうという気持ちになれるのだと思います。保護者の皆さんも同じですよ。

来週にはいよいよ東京オリンピックが始まります。新型コロナウイルスの感染が再拡大する中でのオリンピック開催を反対する声も大きいのですが、開催が決まった以上、出場するアスリート達を応援したいと思いますし、その姿を子ども達に観てもらって、勝ち負けを超えて一生懸命に努力する姿が心のどこかに残ってくれたらいいなあと思います。特に今回のオリンピックでは卒園生の林大地君がサッカーの代表に選ばれましたので、子ども達にとってはとても身近に感じられると思います。一昨年のラグビーワールドカップの堀江選手の時のように、ご家庭でお子さんと一緒に応援していただけたらと思います。又、最近知った話としては同じく卒園生で、大地君の1つ年上で一緒にサッカーをしていたジャニーズ・ウエストの小瀧望君が自身のブログで大地君のことを書いたら、望君のファンからのメッセージが大地君に届いてるみたいです。

このようなスポーツの世界やあるいは芸能界などは卒園生ががんばっているのが分かりやすいのですが、いろんな場所でたくさんの卒園生の皆さんが仕事だったり、ママやパパとして子育てを頑張っているんだろうと思います。以前に園の近くのコンビニで卒園生のU君がアルバイトをしていました。ある日、僕が立ち寄った時に、キャリーバッグを引いたおばあちゃんがたくさんの買い物をされていました。たくさんの品物がうまくキャリーバッグに入らず困っておられたら、U君がレジから出ていって代わりにキャリーバッグに入れてあげていました。U君は幼稚園に通っていた頃はとってものんびりした性格で幼稚園から帰る準備もいつも遅くて先生やしっかりした女の子達に手伝ってもらうことがよくありました。そのU君が大学生になって困っている人を助けている姿を観てとても嬉しく、また、元気をもらいました。小さい頃に愛情を受けて育った子が大きくなった時に愛情を注げる人に成長していた姿をその当時の担任の先生達にも見てもらいたいなあと思いました。走るのが早いとか、歌や演技が上手くてかっこいいとか、のんびり屋さんだけど人に優しいとか、個性は様々ですが、自分の個性を生かして自分らしく生きているたくさんの卒園生のみなさんにエールを贈りつつ、いつも元気をもらっていることに心から感謝です。どうぞ、お元気で夏休みをお過ごしください。